



ERRATA SHEET DS2483

改訂版 A2 の正誤表

下記の正誤表は、DS2483 改訂版 A2 コンポーネントが想定と異なる動作またはデータシートの記述と異なる動作を示す状況について説明しています。Maxim Integrated Products, Inc.は、製品を再設計する機会があり次第、これらの不具合を修正する予定です。

この正誤表は、DS2483 改訂版 A2 コンポーネントのみに適用されます。

改訂版 A2 コンポーネントは、yMXX*の形式の 5 桁コードが TDFN パッケージの上面に印刷されています。この形式では、y および M はそれぞれ製造年度および製造月を表す 1 桁の番号です。XX は改訂版を表し、アスタリスク(*)はファクトリコードを表します。

改訂版 A2 コンポーネントは、dc\$\$の形式の 4 桁コードが SOT パッケージの上面に印刷されています。この形式では、d と c はファミリコード(すなわち、3G は DS2483)を表し、\$\$は SOT の改訂版(すなわち、J2 は改訂版 A2)を表します。

他のDS2483 のダイ改訂版に関する正誤表を入手するには、Maximのウェブサイトjapan.maxim-ic.com/errataを参照してください。

1) I2C または REPEATED START が正常に機能しない

説明:

APU ビットがセットされている場合、1-Wire リセット/プレゼンスパルスサイクル中に I2C の Start または Repeated Start を実行すると、アクティブハイに駆動する DS2483 とアクティブローに駆動する 1-Wire スレーブの間でプレゼンスパルスの競合が発生する可能性があります。

回避策:

「1-Wire Reset」(B4h)コマンドの送信後は、1-Wire リセット/プレゼンスパルスサイクルが完了するまで I2C の Start または Repeated Start を実行しないでください。または、アクティブプルアップ(APU)機能を使用しないでください。

DS2483

REV A2 ERRATA

改訂履歴

版数	改訂日	説明	改訂ページ
0	6/12	初版	—